

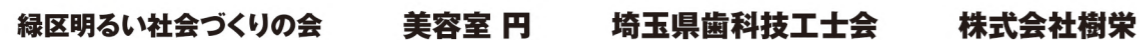
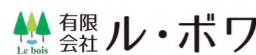
リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2019 さいたまは 多くの皆様にご支援いただきました。

ご協力いただいた主な法人、個人

協賛 (スペシャルパートナー)



協賛



Special Thanks

【個人寄付】太田和悦子/柏浦恵子/茂木康一/吉崎浩美
 【物品提供、貸与】浦和大学/シンテクノ/東急建設/さいたま水道局/日本トリム/埼玉県看護協会/POLA
 【救護協力】新都心小林クリニック 小林利成医師/埼玉県立がんセンター 茂木康一医師、植木恵子/救護さくら草
 【場所提供】さいたま市農業者トレーニングセンター/さいたま市大崎クリーンセンター/さいたま市見沼ヘルシーランド/さいたま市民活動サポートセンター
 【協力】さいたま市/さいたま市緑区/さいたま水道局/上尾中央看護専門学校/浦和大学/日本薬科大学/東急建設/埼玉県立がんセンター/JAIFAソニー埼玉・ソニー生命ボランティア有志の会/大栄企業/スーパーダイハル/大和不動産/坪山健一(つばけん)/沼尻美智子/田中西根岸達夫/高橋昭洋/遠藤奈美/白幡尚之(以上敬称略・順不同)
 【実行委員】秋山桜子/荒井義文/石井靖之/石岡博之/石崎浩一/石島みさ/大竹秀幸/太田和悦子/柏浦恵子/岸田英敏/菅谷雅彦/砂川美由紀/高橋良子/玉岡積子/中臺純/西山さちよ/沼尻邦彦/芳賀敬二/藤野信子/前川信一/松田佳和/宮崎京子/茂木康一/森妙子/矢野知彦/横田治重/吉岡マサ子/渡辺聡一郎(五十音順・敬称略)

特別協賛



注意事項

○会場内のお荷物の管理は自己責任でお願いします。○会場内は全面禁煙です。○ゴミは各自お持ち帰りいただきます。○万が一、事故が発生した場合、主催者は傷害保険に加入している範囲内及び応急処置の範囲内で対応いたします。○イベント中の映像、写真、記録などは、テレビ、新聞、雑誌、インターネット等に掲載される場合がありますのでご了承ください。撮影などを希望されない場合には、撮影やインタビュー時にその都度お申し出ください。○楽器演奏など大きな音を出すことは夜間は禁止とします。○本大会の趣旨をご理解のうえ、営利活動や政治的・宗教的な活動、特定の医療者・治療法・治療薬などの勧誘・宣伝行為、許可のない物品販売、サービス提供などをご遠慮ください。○参加者は運営スタッフの指示に従い、注意事項やマナーを守ってください。○本大会の趣旨に照らし、安全・適切な運営に支障があると主催者が判断した場合、参加をご遠慮いただく場合があります。

お問い合わせ先

リレー・フォー・ライフ・ジャパンさいたま実行委員会
 〒330-0055さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナール9階
 さいたま市民活動サポートセンターA-43
 TEL:080-2197-8192
 メールアドレス: rflsaitama2009@gmail.com



がん患者支援チャリティーイベント

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2019 さいたま



迷わせない・困らせない・ひとりにさせない



絵：植野 愛海 さん (小5)



Celebrate · Remember · Fight Back

9月14日(土) 12:00 ▶ 9月15日(日) 12:00

さいたま市・農業者トレーニングセンター「緑の広場」

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019 さいたま
 大会会長 清水 勇人 実行委員長 大竹 秀幸
 ■主催 公益財団法人日本対がん協会、リレー・フォー・ライフ・ジャパンさいたま実行委員会 ■特別後援 アメリカ対がん協会
 ■後援 厚生労働省、埼玉県、さいたま市、埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、埼玉県医師会、浦和医師会、埼玉県歯科医師会、埼玉県薬剤師会、さいたま市薬剤師会、埼玉県病院局(県立がんセンター・小児医療センター・循環器呼吸器病センター)、埼玉県看護協会、日本赤十字社埼玉県支部、埼玉市長会、埼玉県町村長会、埼玉県健康づくり事業団、埼玉県栄養士会、埼玉県歯科衛生士会、埼玉県歯科技工士会、埼玉県臨床検査技師会、埼玉県社会福祉協議会、全国保健師長会埼玉支部、さいたま商工会議所、読売新聞さいたま支局、朝日新聞さいたま総局、毎日新聞さいたま支局、産経新聞さいたま総局、東京新聞さいたま支局、埼玉新聞社、テレ玉、九里学園 浦和大学

ご挨拶

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019さいたま」の開催にあたり、大会会長として一言ご挨拶申し上げます。
1985年、ワシントン州において一人のアメリカ人医師が「がん患者は24時間、がん向き合っている」という想いを胸に24時間トラックを歩いて寄付を集め、がん患者支援に役立てたことがリレー・フォー・ライフの礎になっています。

その活動は今、世界約30ヶ国、約4500ヶ所で開催されています。
今年我が国では50ヶ所で開催される予定ですが、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン さいたま」は今年で11周年を迎えます。同一県内で2か所(川越とさいたま)が11回を迎えるのは、全国のなかでもここ埼玉県だけではないかと思えます。

実行委員長はじめ各委員、参加チームの皆さんそれぞれの熱い想いにより継続することの難しさを乗り越えて気持ちも新たに今日を迎えることができたものと思います。
さいたま市では、がんは死因の第1位となっており、この現実を受けて、平成28年3月「さいたま市がん対策推進計画」を策定いたしました。これは市民一人ひとりががんについて理解を深め、がんの予防や早期発見に努め、そしてがんになっても、自身の生き方に係る選択が主体的に行え、「自分らしさと尊厳」を持って住み慣れた地域で生活できるよう、市民、事業者、保健医療関係者、市がそれぞれの役割を果たし、一体となってがん対策を総合的かつ計画的に推進するものです。各分野で様々な取組を展開しているところですが、がん検診の受診率向上や、若い世代に向けたがんの正しい知識の普及などの課題を踏まえ、引き続きがん対策の取組を進めてまいります。

このがん患者支援・がん征圧チャリティー活動、リレー・フォー・ライフにより多くの人々が参加され、がん向き合うひとつのきっかけになればと考えます。
「迷わせない・困らない・ひとりにさせない」をキャッチフレーズにした本チャリティーイベントが、「がんに負けない社会づくり」の力になることを心から願っております。



リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019さいたま
大会会長
さいたま市長 清水 勇人

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019さいたま」の開催にあたり、副会長として一言ご挨拶を申し上げます。
さいたま市でのリレー・フォー・ライフは第1回目より、この「緑の広場」で開催され今年で11回目を迎えることになりました。この間、本イベントに対し地域の多くの皆様からご支援をいただき心から感謝申し上げます。さて、このイベントはがん患者さんを始め多くの支援者が、がん征圧という共通の願いを目的に夜通し歩くことでがん向き合う勇気や生きる感動を共有しております。私もイベントに参加し皆さんの熱い思いに大いに共感した次第であります。
また、緑区でのリレー・フォー・ライフの活動は区民祭りでの啓発や緑区市民活動ネットワークへの参加等、着実に活動をひろげ地域に根付いてきております。これからも、このチャリティーイベントを通して、がん予防に対する意識向上と命の大切さを伝えていき、リレー・フォー・ライフが地域と密着した活動にますます発展することを願っております。



リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019さいたま
大会副会長
緑区自治会連合会会長 鈴木 甫

1985年、アメリカを発祥として世界中に広がったこの活動は、2006年日本に上陸。
つくばでのトライアル開催を経て、2009年熱い思いを持った一人の女性サバイバーさんによって、さいたま開催の扉が開かれました。
昨年、リレー・フォー・ライフ・ジャパンさいたまは10周年を迎えました。
そして今年新たな10年に繋げる船出の年になります。
私たち「リレー・フォー・ライフ・ジャパンさいたま実行委員会」はこれまで同様、地域に根差したがんサポーターの和(輪)「迷わせない・困らせない・ひとりにさせない」をスローガンに、がん患者と家族の支援に軸足を向けたチャリティーイベントと、啓発活動を通して、地域社会と一緒にがん制圧活動に取り組んでまいります。
地域に開かれた「リレー開催」を目指し、通年の啓発活動にも力を入れ、がん体験者やご家族が語り合える場「なごみサロン」の活動も継続させ、実行委員一同心を合わせて取り組んでまいります。
多くの皆様方のご参加、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019さいたま
実行委員長
大竹 秀幸

リレー・フォー・ライフとは RELAY FOR LIFE

がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがん向き合い、がん征圧を目指します。1年を通じて取り組むチャリティー活動です。
1985年、一人の医師がトラックを24時間走り続け、アメリカ対がん協会への寄付を募りました。「がん患者は24時間、がん向き合っている」という想いを共有し支援するためでした。ともに歩き、語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいというこの活動を代表するイベントは、2015年は世界25カ国、約6000ヶ所で開催され、年間寄付は470億円にのぼります。2016年、日本では49ヶ所に広がります。

リレー・フォー・ライフの使命と3つのテーマ

SaveLives
(セーブライヴズ)

祝う Celebrate

がんの告知を乗り越え、今を生活しているサバイバーや家族などの支援者を讃え、祝福します。

しのぶ Remember

がんで亡くなった愛する人をしのび追悼します。また病の痛みや悲しみと向き合っている人々を敬います。

立ち向かう Fight Back

がんの予防や検診を啓発し、征圧のための寄付を募り、がんを負けない社会をつくります。

日本人の3人に1人が、がんで亡くなる時代

リレー・フォー・ライフの寄付は このように使われます

がん患者支援



リレーイベント

リレー・フォー・ライフ活動の締めくくりとして、2日間のイベントを開催します。



がんの悩み相談

看護師・社会福祉士・医師による、電話または面談相談を無料で実施しています。



プロジェクト未来

がんの新しい治療法や新薬開発に向けた研究助成を寄付金で支えています。



若手医師育成

がんを深く学びたい若手医師が、海外の専門施設で研修するための費用の一部を寄付金で支えています。



がん検診率アップ

すべてのがんを対象にがん検診の受診啓蒙活動を実施しています。

がん征圧

リレー・フォー・ライフで寄せられた寄付金は、
公益財団法人日本対がん協会を通じて支援に充てられます。

What's リレー・フォー・ライフ



リレーウォーク・サバイバースウォーク

参加者は有志チームを組み、サバイバー(がん患者・経験者)たちと共にグラウンドを24時間交代で歩き続けます。皆が共に歩くことで、がん向き合う勇気や生きる感動を共有します。



ステージ

歩いている人達を楽しませるために、あるいは休憩中に参加できるように、音楽の演奏やサバイバーのトークなどが行われます。



啓発活動

がんの早期発見・治療、健康に関する情報などを楽しく学べる催しがあり、命の大切さを伝えます。

迷わせない・困らせない・ひとりにさせない

なぜリレー・フォー・ライフでは24時間トラックを歩き続けるのでしょうか。
 がんと闘っている人は、夜になると「このまま明日の朝を迎えられないかも・・・」そのような気持ちになります。
 リレー・フォー・ライフでは「ひとりにしない」という気持ちを共有し行動します。
 24時間誰かが歩き続けることは、24時間眠らないがん細胞に対する挑戦なのです。
 メインステージでは多彩なアーティストによる歌やパフォーマンス、また今回からすぐ役立つ啓発セミナーを2日間にわたって繰り
 広げます。ご期待ください。

TIME TABLE 9月14日 土

ステージ
11:00 開場
11:30 準備体操 埼玉県エアロビック連盟 小柏 香織さん
11:45 ■開会式 ・大会会長 挨拶 さいたま市長 清水 勇人 様 ・大会副会長(緑区自治会連合会会長) 挨拶 鈴木 甫様 ■来賓紹介 ・さいたま市保健福祉局長 清水恒男様 ・さいたま市緑区区長 木村政夫様 ■表彰式(大会長賞)
12:00 ■開会宣言 実行委員長 大竹秀幸 ■サバイバースウォーク 演奏:さいたま市消防音楽隊 スターター サバイバー代表 石島みささん ■一斉ウォーク
12:55 埼玉県エアロビック連盟 「スローエアロビック」
14:00 Real Voice 「バンド演奏」 トゥルー・リサーチャー(真実の探求者)「バンド演奏」
14:45 ボランティアグループ一歩会 「踊り」 さいたま赤十字病院 ゴスペル同好会 「歌」
14:45 MICAH(ミーカ) 「歌」 神座~Kagura~ 「バンド演奏」
16:55 Sachi ~チーム樽前~ 「歌」 ムーラン(チームリライフ) 「のの字の歌体操」
17:40 啓発講演 「がんゲノム医療って、なにをするの?」 埼玉県立がんセンター腫瘍診断予防科課長兼部長 赤木 究先生
18:30 TUBO-KEN(つぼけん)「サックス演奏」
19:00 ■エンプティテーブル 朗読:高橋 良子さん 歌:田中 茜さん 演奏:TUBO-KEN(つぼけん)
20:30 ■禰(たすき)委託式 (夜間禰をつないでくれる皆さんへ禰を託します) ボランティア浦和大学学生の皆さま
21:00 初日プログラム終了

啓発
テント

13:15~14:00
 「予防と検診でがん早期発見!」
 埼玉県立がんセンター 病院長
 坂本 裕彦先生

ヘルシー
ランド
(1階ロビー)

14:20~15:05
 「乳がんの最新の情報」
 日本医科大学付属病院乳癌科部長/大学院教授
 武井寛幸先生

啓発
テント

15:25~16:10
 「肝がんの治療 -生活・治療の理解を
 深める当院の取り組みを含めて-」
 埼玉県立がんセンター消化器内科副部長
 清水 伶先生

ヘルシー
ランド
(1階ロビー)

16:30~17:15
 「病いとともに生きるということ」
 さいたま赤十字病院緩和ケア診療科部長
 原 敬先生

サバイバーの方や、ご家族、ご友人の休憩テントです。
 「なごみサロン」も併設されます。
 ご自身の体験や、普段周りになかなか話せない思いを話してみませんか?ぜひ、お立ち寄りください。

サロン常時開催

休憩スペースとしてもご利用できます。
 サバイバーの方は、手形テントにてパンダナとカフェ券をお受け取りください。

「なごみサロン」は、リレー・フォー・ライフ・ジャパンさいたま実行委員会が主催しています。

「なごみサロン」
 ~がんと向き合う方々の語り合いの場~

- 開催日時 毎月第3土曜日開催
- 開催時間 14時~16時
- 開催場所 さいたま市民活動サポートセンター内 南ラウンジ
- アクセス JR浦和駅東口正面 徒歩1分 PARCOのに入ったビル9階
- 問い合わせ先 080-8191-5718(代表 吉岡)

※事前の申し込みはいりません。
 時間内にいつでもお越しください。

TIME TABLE 9月15日 日

ステージ
8:00 ■禰(たすき)返還式 夜間、禰をつないでくれた皆さんから各チームに禰を返還します ■ラジオ体操 一歩会 佐野 尚子さん
8:20 浦和大学エイサークル 「エイサー」
9:20 Medicine 「フォークデュオ」
9:50 ZAX会 「サックス演奏」
10:20 三室空手道場 「演武」
10:50 Pop Hoppers & BILL-BOSE 「歌」
11:45 ■サバイバースウォーク ■ラストウォーク ■千羽鶴贈呈式(東急建設・他)
12:00 ■閉会式 ・日本対がん協会 常務理事 坂野 康郎様 ・表彰式(日本対がん協会グッドサポーター賞) ・寄付金発表 ・閉会宣言 副実行委員長 横田治重 ・写真撮影 参加チーム全員でルミナリエの片づけ/会場後片付け

サバイバーの方や、ご家族、ご友人の休憩テントです。
 「なごみサロン」も併設されます。
 ご自身の体験や、普段周りになかなか話せない思いを話してみませんか?ぜひ、お立ち寄りください。

サロン常時開催

休憩スペースとしてもご利用できます。
 サバイバーの方は、手形テントにてパンダナとカフェ券をお受け取りください。

リレー・フォー・ライフは雨天決行です。 ※タイム・テーブルは当日、天候や諸事情により変更する場合があります。



